

特定廃棄物埋立情報館  
「リプルンふくしま」  
グラウンドデザインについて

資料3-2

## リプルンふくしまのグランドデザイン策定にあたって

リプルンふくしま開館から5年が経過し、状況が変化。

1. 特定復興再生拠点区域の避難指示解除に伴う、まちの再生による環境の変化や、震災を経験していない子供たちの増加に伴う震災の記憶の風化の懸念
2. 新型コロナウイルスの経験による新しい生活様式への変化
3. 令和5年11月に特定廃棄物の埋立を終了予定

第8回情報発信拠点運営委員会で策定された「リプルンふくしまの情報発信戦略」に替わるグランドデザインを策定。以降、グランドデザインに基づき、リプルンふくしまでの取組を進めていく。

## 基本理念（リプルンふくしまの役割）

- 地域住民の方々の疑問や不安などの軽減や安心の確保
- 県内外の方々に対して事業の安全性についての理解の促進
- 風評被害の払しょく

## 基本となる情報発信

- ① 特定廃棄物の処分工程における安全性のPR
- ② 放射線の正しい基礎知識をPR
- ③ モニタリングフィールドでのモニタリング体験等の実施
- ④ 地域の再生・復興状況をPR
- ⑤ 地域のイベントを活用した事業のPR



## 開館以降の状況の変化

### 状況変化

震災を経験していない子供たちの増加

### 状況変化に応じた情報発信の必要性

・震災の記憶の風化の懸念

まちの再生

・地域の復興状況がどのように進んでいるか関  
心を持っている人たちがいる  
・福島への移住に関心を持っている人たちがいる

コロナ禍を経験

・新しい生活様式の定着

### 埋立の状況変化（令和5年11月以降）

埋立処分場へ搬入する廃棄物の種類の  
変化、搬入量の減少等

・特定廃棄物の埋立終了に伴う管理の変化  
・地域の人たちは、埋立完了後の姿について、関  
心が高くなりつつある

# 継続する情報発信と追加・変更する情報発信

これらの状況変化を受けて、従来の情報発信に加え、追加・変更すべき情報発信がある。

## 基本となる情報発信 継続

- ① 特定廃棄物の処分工程における安全性のPR
- ② 放射線の正しい基礎知識をPR
- ③ モニタリングフィールドでのモニタリング体験等の実施
- ④ 地域の再生・復興状況をPR
- ⑤ 地域のイベントを活用した事業のPR

## 状況変化に応じた 追加・変更

- ・特定廃棄物の運搬から埋立までの管理、  
処理方法の変更内容を追加

埋立処分場へ搬入する廃棄物の種類の変化、搬入量の減少等

- ・埋立完了後の管理方法を追加

- ・移住・定住に繋がるような魅力的な地域の再生・復興状況をPR

まちの再生

コロナ禍を経験

- ・企業等が安心して事業展開できるような安全・安心環境をPR

まちの再生

- ・モニタリングフィールド、展示室以外での効果的な情報発信や、福島以外の地域の人たちへの積極的なPR

震災を経験していない子供たちの増加

コロナ禍を経験

## リプルんふくしまの目標

- ① 地域住民の安心感の醸成と不安の払しょく
- ② 埋立処分事業の安全性の理解促進
- ③ 地域の風評被害の払しょく
- ④ 震災後、避難している方々の帰還や新たに地域以外からの人々の流入につながる地域の魅力をPR

## 追加する情報発信

処分場の状況変化

特定廃棄物以外の処分  
工程における安全性のPR

埋立完了後の管理

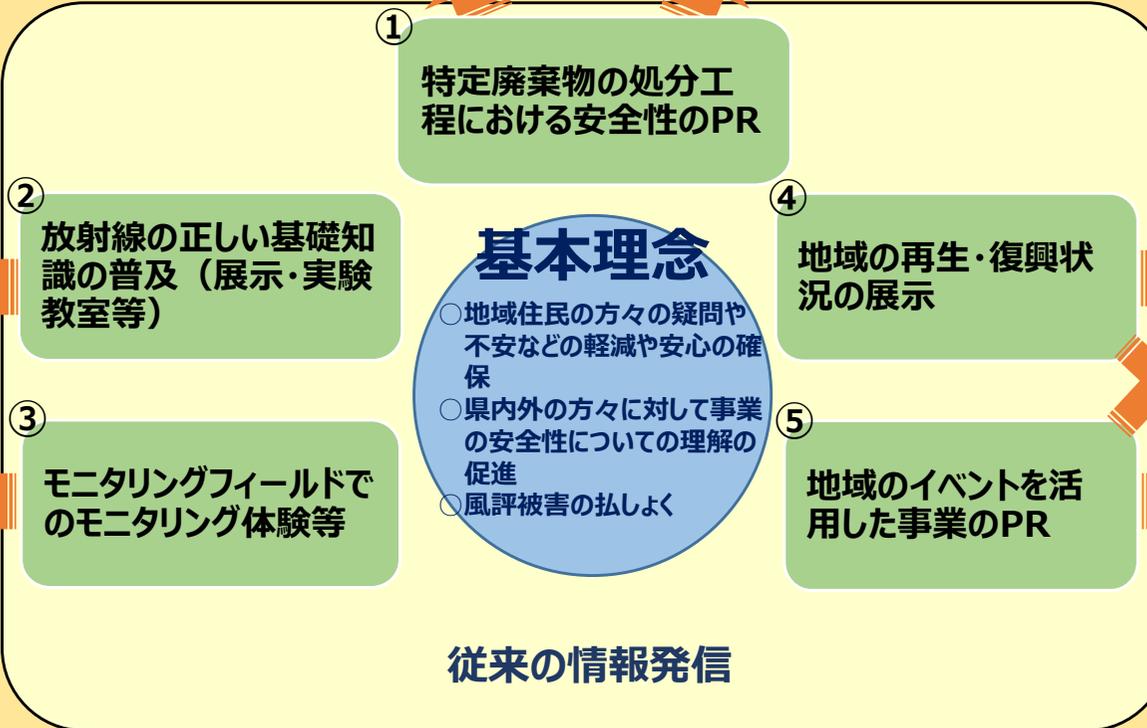
まちの再生

コロナ禍を経験

震災を経験していない  
子供たちの増加

コロナ禍を経験

モニタリングフィー  
ルド、展示室以外での  
効果的な情報発信



従来の情報発信

移住・定住に繋がる  
ような魅力的な地  
域の再生・復興状  
況をPR

企業等が安心し  
て事業展開できる  
ような安心・安全  
環境のPR